

令和6年度第3回佐賀市上下水道事業経営審議会 議事録

◆ 開催日時

令和6年12月2日(月) 14:00～15:30

◆ 開催場所

佐賀市上下水道局5階 大会議室

◆ 出席委員（敬称略、五十音順） ※◎は会長、○は副会長

猪八重拓郎、○合六丈晴、古賀醸治、坂井俊彦、◎角田幸太郎、福田忠利、水町良雄、
溝上良雄、吉村純子

◆ 欠席委員（敬称略）

池田敦子

◆ 事務局

佐尾下水プロジェクト推進部副部長、一ノ宮副理事兼総務課長、栗原総務課参事兼副課
長兼企画係長、重永財務課長、北村業務課長、田中下水道工務課長、江口下水道施設課
長、溝口給排水設備課長、野田総務課主査、廣瀬総務課主査 外

◆ 傍聴者

なし

◆ 議事要旨

1. 開会

（司会による挨拶）

2. 佐賀市上下水道事業管理者職務代理者あいさつ

○事務局

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、第3回佐賀市上下水道事業経営審議会にご出席
いただきまして、誠にありがとうございます。

前回の第2回の審議会では、貴重なご意見をたくさん頂戴いたしまして、ありがとうございます。
その中で、今回の第3回におきましては、私どもで考える使用料改定のシミュ
レーションを提出するようというご提案がございましたので、本日そのシミュ
レーションのほうを提出させていただきます。よろしくお願いいたします。

それともう一つ、一般的なシンクタンクなどから調査をしてもらったらどうか。佐賀市の公共下水道の過去や将来何十年にわたる計画に対して、一度やってみたら、裏付けになると思う。

○委員

修繕費などは、例えば10年後だったら、現在の見積りでは多分合わなくなる可能性もあるので、将来の維持管理費等を見越して総括原価を出す必要がある。多分織り込み済みで算出されていると思うが、ブレというのをいくら考えているのか。上ブレはあまりないかもしれないが、原価がシミュレーション以上に高くなってしまうという可能性もある。想定していない新たなもので掛かってくる費用も出てくる可能性があるが、その辺りの考え方を伺いたい。

○事務局

投資計画の中で一番難しいのは物価高騰をどう読んでいくか、近年の物価高騰が非常に激しいので、再度見直し国の基準によって、修繕費も高騰しているという想定で作っている。

○事務局

前回、第2回の資料において、財政状況をお示ししている。修繕費、人件費や物価高騰の伸び率、人口減少の下がり幅なども見込んで計画を示しており、ここから不足分を算出して改定率の数字を示している。

○委員

老朽管の改修など、もう1回見直す必要はないのか。できるだけ今の計画を少しでもずらしていくとかしないと、計画はそのまま、不足するから上げます、という風に感じる。

老朽管の改修についても、少しずつ延ばして年度の支出額を減らしていくとか、維持費も内部努力をして落としていくとか、そういうのが見えないと値上げについて賛成しにくいと思う。そういう計画を見直した上で、ギリギリここまで努力して足りませんと、そういう数字が出てこないといけない。

○会長

第1回の説明資料で、主な取組として管路耐震30年プラン、老朽管70年プランなどに取り組まれている。この場合は、取りあえずは、どれぐらい上げるとこまで話を進めていきたい。

○委員